

# 広徳寺通信

Letter from Koutokuji Temple 第20号



◆ 夜明けの北斗市。

ハクチヨウ。古は「鶺鴒」と呼ばれた冬の鳥。「燕雀安んぞ鴻鵠の志を知らんや」とあるように、ハクチヨウは美しく志の高い象徴としてありました。夏の間にシベリアで過ごし、四千キロの距離を二週間かけて日本へと飛来します。平均時速五十キロ、気流に乗ると時速百キロにもなるスピードで、標高三千メートルの山脈をも越える。越冬のため、生きるために列をなしたただひたすらに飛ぶその姿は、生きることの

— 千手仏背に白鳥の潜みをり

(宮坂静生)

## お寺ニュース



12月28日 すず払い・大掃除



年末の大掃除の後は、お餅をついて仏さまに30組ほどお供え。終わって、忘年会で一年をしめくくりました。

1月2日-6日 年始参り

今年もお年始めに各お檀家さまの家のご本尊様・ご先祖様にご挨拶。般若心経をお唱えし、今年一年も元気で過ごせるようにお祈りしました。

1月10日-12日 寒修行(梅花講)



今年マイナス19度という記録的な寒さ。まさに「寒」修行となりました。それでも一軒一軒「南無本師釈迦如来」と心を込めてお唱えし回りました。浄財の一部は北斗市社会福祉協議会に寄付されます。



◆ 梅花講の皆様、お疲れ様でした!



曹洞宗  
慈眼山

# 広徳寺



〒049-0162 北海道北斗市中央 2-3-14  
TEL 0138-73-2032 FAX 0138-73-5500  
✉ info@jigenzan.org www.jigenzan.org



寺こやよりお知らせ



自分を見つめる!!

## 寺こや坐禅塾

シンプルなあなたにいったんリセット!

日時: 2月25日(土)

午後4時からはじまります  
(始まる10分前にはお越し下さい。)

参加費: 100円

※ どなたでもご参加いただけます。

※ 足を組めない方にはイスをご用意しています。



上記日程以外でも坐禅の受付をしております。個人・団体問いません。まずはお気軽にお電話ください。

梅花講よりお知らせ

## 梅花流詠讚歌

講員さん随時募集してます!!

毎週 土曜日  
午後 1時半  
~  
午後 3時半

おかげさまで無終  
事、寒修行をきり  
えることがあ  
ましたわ。あ  
ましようござ  
がいた。



◆ 新年会では歌って踊って楽しみました!





第17回 「お経の話 その3」

修証義

【しゅしょうぎ】

◆お経本の10頁です。

ご法事やお葬式、お寺参りなどで耳にします『修証義』というお経。いったいどんなお経なのでしょう？



曹洞宗の教えの根本です

『修証義』が曹洞宗の教えのすべてといってもいいでしょう。曹洞宗をひらかれた道元禅師さまが、およそ750年前に著した『正法眼蔵』を、明治時代半ばに読みやすく短くまとめたのが『修証義』です。しかし、その内容は曹洞宗に限らず、ひろく仏教全般の教えに通じています。

おおまかな意味

『修証義』は3737文字の全5章からなります。『般若心経』が276字ですから、長いお経であることがわかりますよね。

『修証義』については次回以降もっと詳しくゆっくり説明していきますね！！

【総序】人は年を重ねるごとに体力が衰え、手足が不自由になり病にかかりやがては死を迎えます。どんな人であっても逃れることはできない事実なのです。この事実をかかえながら生きることは耐え難い。いったいどうすればこの苦しみから脱することができるのでしょうか。そのためには、因果と業ということを正しく受けとめなくてははいけません。

【第二章 懺悔滅罪】正しく受けとめた上で、み仏の前で自分の今までを反省し懺悔しましょう。

【第三章 受戒入位】素直な気持ちで戒を受けることではじめて仏教徒として歩みはじめます。

【第四章 発願利生】仏教徒として生きることを誓った後は、自分の幸せを祈るばかりでなく、他人の幸せをも祈り、慈悲行を実践しましょう。

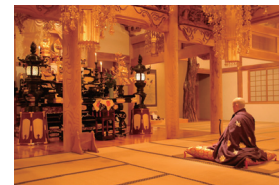
【第五章 行持報恩】こうして正しい信仰を頂かせて貰っている背景には、仏さま方やご先祖様の恩恵があります。私たちは、戒を保ち慈悲行を日々実践することで、その恩に報いなくてははいけません。



1月1日 元朝祈祷



広徳寺の元朝祈祷は、午前0時三社殿（金比羅さま）で行われます。年始参りの時にお配りする大般若のお札とお守りを前に、今年一年よい年になりますようにと般若心経でご祈祷いたします。毎年十数人のお参りの方が来られます。住職は、お経本をお参りの方の頭に当て一人一人の幸せを祈ります。終わって、お寺の本堂に移動し、今年最初の朝のお勤めをします。



年始参りでお配りした大般若のお札は、お仏壇や玄関などに貼っておくとよいでしょう。